

# 令和5年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2	学年・学科	2学年(全学科)
教科書	李国書院「明解 歴史総合」 二宮書店「詳細現代地図」		副教材	「明解 歴史総合ノート」・歴総-706準拠			

学習目標	<p>○現代の諸課題が世界とそこの中の日本の歴史との関連性を探求的に学習します。</p> <p>○世界と日本の歴史を多角的に捉えて、それが現代に生きる社会にどのような影響があるのか資料・時代・時期を踏まえて効果的に調べて、議論できる力を涵養します。</p> <p>○主に教科書に登場する歴史上の人物の功績や失敗から、21世紀の主人公として生きる社会人としてどう生きるべきかを学びます。</p>
学習方法	<p>○学習内容をわかりやすく説明・板書します。また、学習プリントを活用しわかりやすい授業を行います。</p> <p>○グループワークや発表といった共同学習をとおして、学びあう活動をします。</p> <p>○主に復習として、ワークノートや問題プリントの演習に取り組みます。</p> <p>○小テストや定期考査によって、知識・理解および思考・判断・表現の力を試みます。</p>

	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考査	考査以外
学習評価	a 知識・技能	歴史上の出来事から現代に関連する諸課題を発見し、考える力を涵養することを趣旨とし、そのための資料の選択や判断材料への理解度を身に付けることも趣旨と捉える。また、過去の功罪を論理的思考により、それが現代の生き方を考える技能を修得することも併せて評価の観点とする。	前期中間	35 %	20	15
			前期末	35 %	20	15
			後期中間	35 %	20	15
			後期末	35 %	20	15
	b 思考・判断・表現	過去の功罪から現代の諸課題を解決するための選択や判断を、発展的で建設的な基本的スタンスで多方面から思考し、公正に判断する力を評価の観点とする。異なる意見(議論)を調整し、合意形成に導く主体的な表現も評価の観点とする。	前期中間	35 %	20	15
			前期末	35 %	20	15
			後期中間	35 %	20	15
			後期末	35 %	20	15
	c 主体的に学習に取り組む態度(意欲)	歴史的観点から世界的視野で日本民族としてどうあるべきかを意欲的に、現代の諸課題とを重ね合わせて主体的に解決する姿勢を評価の観点とする。 知識や技能の獲得や思考力・判断力・表現力等を身に付けるために粘り強く取り組むなかで、自らの学習をより有意義なものにしようと努力する姿勢を評価の観点とする。	前期中間	30 %	10	20
			前期末	30 %	10	20
			後期中間	30 %	10	20
			後期末	30 %	10	20

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	第1部 「歴史」のとびら	・お茶と食生活から見る日本と世界について学びます。	○	○	○	a:世界と日本の歴史を知り、よりよい日本の形成者としてのあり方や世界の中の日本人としての役割としての知識を手がかりとして、様々な資料や人物を客観的に読み取り、特徴や傾向を推測できる技能を身に付けている。 b:現代の世界や日本が持つ特質や諸課題と歴史を重ね合わせて思考し、少数の意見にも耳を傾け、発展的に未来を構築するために必要なことを公正さを持って判断し、それを表現できる。 c:17世紀に日本で確立した安定した社会が成立した仕組みや、革命を通して犠牲を払いながらも成立した近代国家の成り立ちから、諸権利に対する社会の価値観の違いなどに意欲的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査
	第1章 歴史と私たち		○	○	○		
	第2章 歴史の特質		○	○	○		
	第2部 近代化と私たち	・アジアの中の江戸幕府について学びます。 ・アジアやアメリカに向かうヨーロッパについて学びます。	○	○	○		
	第1章 江戸時代の日本と結びつく世界		○	○	○		
	第2章 欧米諸国の近代化		○	○	○		
	第3章 近代化の進展と国民国家の形成	・フランス革命について学びます。 ・産業革命の功罪について学びます。 ・イギリスの繁栄と国際分業について学びます。	○	○	○		

前期末	第2部 近代化と私たち 第4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	・南アジア、東南アジアの植民地化について学びます。		○		a:アヘン戦争と明治維新との関係から列強国が日本も含めアジアに接近した理由から知識を深め、その後の日本の経済成長と共に列強国として戦争への道を歩む日本の姿を通して帝国主義が生んだ現代の諸課題を読み取る技能が身についている。 b:帝国主義政策によるアジア進出が、やがて世界大戦が起こる布石となったことを思考し、現代の大国が掲げる政策との共通点を判断し、それを表現できる。 c:積極的に帝国主義政策の原理を論理的に学ぶ姿勢やそれが現代にも通じる世界の諸課題解決に向けて様々な技法を用いて意欲的に取り組む。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査	
	第5章 近代化が進む日本と東アジア	・ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争について学びます。	○	○				
	第3部 国際秩序の変化や大衆化の私たち 第1章 第一次世界大戦と日本の対応	黒船の来航と日本の対応について学びます。		○	○			
		・明治維新と新政府の誕生について学びます。	○	○				
		・日本と清との近代化と日清戦争について学びます。		○				
		列強国の中国進出と日露戦争について学びます。	○	○	○			
後期中間	第3部 第2章 国際協調と大衆社会の広がり 第3章 日本の行方と第二次世界大戦 第4章 最出発する世界と日本 第4部 グローバル化と私たち 第1章 冷戦で揺れる世界と日本	・ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張について学びます。	○	○	○	a:近代戦争がもたらした甚大な損失から経済や社会、国家間の歪みについて、読み取り、理解を深めて知識とし、発展的に建設的に現代社会の諸課題を解決する技能を身に付けている。 b:戦争が起こる理由を現代社会や世界の諸問題と併せて思考し、国際平和と共存、共生への道に大切なスタンスを判断できるとともに、意見を広く聴き、判断し、それを建設的に自分の考えを表現できる。 c:過去の戦禍を過去のことと捉えず、未だに終結しない紛争や新たな国家間の対立を主体的に解決する糸口を積極的に探究する方策を意欲的に考えている。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査	
		・総力戦となった第一次世界大戦について学びます。	○	○				
		・ロシア革命と第一次世界大戦の終結を学びます。	○	○	○			
		・ヴェルサイユ体制について学びます。	○	○				
		・大衆社会の出現とアメリカの繁栄について学びます。	○	○	○			
		・世界恐慌の影響とファシズムの台頭について学びます。	○	○				
		・日中戦争について学びます。	○	○	○			
後期末	第4部 グローバル化する私たち 第2章 多極化する世界 第3章 グローバル化の中の日本 現代的な諸課題と解決への展望	・アメリカとソ連の緊張と緩和について学びます。	○	○	○	a:戦後の国際連合設立や平和主義と冷戦、冷戦後の世界と日本の結びつき、国際紛争と国際平和との関係性、諸課題に理解を深め、知識を習得し、先進国に生き、グローバル社会の特徴や諸課題の解決を図る方策を探る技能を身に付けている。 b:冷戦と二大大国の経済力低下との関連から世界の勢力図を思考し、世界平和の実現と平和の維持、それを達成するための国際社会の在り方について考察し、様々な意見を聴き、調整するとともに、判断し表現する力を身に付けている。 c:それまでの「歴史総合」の授業をどうして培った、技能や判断力、表現力、思考力を応用的を活用して、意欲的に、主体的に学び、思考している。	・授業態度 ・発問評価 ・授業プリント ・授業ノート ・提出課題 ・小テスト ・定期考査	
		・冷戦下における日本の復興について学びます。	○	○	○			
		・中東戦争とパレスチナ問題について学びます。	○	○	○			
		・揺らぐアメリカ経済について学びます。	○	○	○			
		・「経済大国」日本について学びます。		○	○			
		・冷戦の終結と変わる世界構造について学びます。		○	○			
		・国際環境の変化と日本について学びます。	○	○				
	・グローバル化による国際社会の変容について学びます。	○	○	○				